

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



経済と地域社会の発展月間米山月間(1)



10月は「経済と地域社会の発展月間」そして日本独自の「米山月間」です

2020-21年度 第2770地区

ガバナー 中里 公造

世界では、毎日25,000人程が飢餓や感染症で亡くなっているといわれています。また、仕事があっても1日1ドルほどで生活を送る人々が、全世界では14億人もいます。

こうした人々に生産性の高い仕事を提供し、かつ十分な仕事の機会をつくり、経済と地域社会の発展を目指す奉仕プロジェクトを実施しており、これがロータリーの6つの重点分野の一つとなっています。貧しい地域で、特に女性をはじめ、地元起業家や地域リーダーの育成を支援しています。

ロータリアンは、行動する人たちです。その行動は大きな変化を生み出します。経済と地域社会の発展を通じて、世界の理想的な姿を実現するためビジョンを持って行動します。その可能性には限度がありません。ロータリアンによる支援活動のおかげで、世界における貧困層の人口はこの20年間で50%以上も減少しました。

ロータリアンは「人」に投資し、地域社会や人々の暮らしに持続可能で測定可能な改善をもたらし、地域社会の経済発展を促すため、「貧しい地域社会の経済発展を促すための人々の能力・スキル向上」「生産性の高い仕事の創出」「支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減」「経済と地域社会の発展に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援」など、世界の各地でさまざまな取り組みを実施しています。

10月は「米山月間」です

また、日本独自の月間として10月は「米山月間」となっております。ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を支援することを目的としている奨学事業です。この月間に因みまして、米山奨学事業の意義を深く認識して戴くために、米山奨学生や地区委員からの卓話を聞いたり、更に奨学会から提供される資料をもとにクラブフォーラムなどを開催しては如何でしょうか。

当地区の米山寄付は、会員の皆さんの米山奨学事業へのご理解とご協力により、素晴らしい実績を残しています。唯一法人寄付は他地区と比較してかなり低い水準にあります。(34地区中28位)法人寄付が増えることにより、地区に割り当てられる学生の数も増えることにつながります。ご協力をお願いいたします。

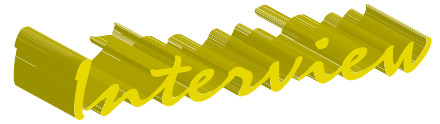
最後に、この度アフリカ地域において、ポリオフリーが宣言されました。残る常在国は、パキスタン・アフガニスタンの2か国となりました。

10月24日(土)は世界ポリオデーです。

昨年度は、小林直前ガバナーのポリオ根絶に対する熱い想いにより、地区内全てのクラブが何らかのイベントに参加し、それぞれのクラブそして地域社会に大変大きなインパクトをもたらしました。今年度の「世界ポリオデー」はコロナ禍の中、人を集めてのイベント等は難しい状況にあります。クラブレベルでの取り組みをお願いいたします。



細淵雅邦ガバナーノミニー（浦和）



月信：今回は、細淵ガバナーノミニー（浦和RC）にお話を伺いたく思います。お忙しいところありがとうございます。まずは、自己紹介をお願い致します。

細淵：浦和ロータリークラブ所属、細淵雅邦（ほそぶちまさくに）です。20年7月よりガバナーノミニーとなり、中里ガバナー、松本エレクトの背中を仰ぎ見ながら日々学んでいます。

月信：ノミニーといえば、ポートやオリンピック（※）ですが、ロータリー入会の経緯を教えてください。またノミニーを受諾する際の心境も教えてください。

【（※）過去の配信記事より抜粋】

国際ポート連盟(FISA)の理事に、日本ポート協会の細淵雅邦理事の就任が決まったことが分かった。FISAの役員を日本人が務めるのは初。担当分野は五輪の開催準備や運営、東京五輪に向けて日本側とのパイプ役となることが期待される。細淵氏は08年北京五輪では日本協会の強化責任者を担い、ポート日本代表のチームリーダーを務めた。

細淵：これまでの航跡を振り返ると、ポート日本代表に関わっていた際は、生活の拠点が東京や海外でしたが、祖父が浦和東RCのチャーターメンバーで初代会長を務めたこともあり、いずれロータリーに入会しご恩返しをしたいと思っていました。そんな中で、元さいたま市長の相川会員（浦和RC）より、「勝ち負け以外の人生を知るべきだ。騙されたと思って白黒以外のものを学べ。」という温かいお言葉をいただき入会するに至りました。入会後は、「ロータリー活動が忙しくなっても、自身の仕事は今まで以上に頑張ること！」籠島会員（浦和RC）よりいただいた言葉を日々反芻しています。ノミニーを受諾するにあたっては、北清治パスト（浦和東RC）より「（埼玉から長く離れていたこともあり、）地元でもやるべきことがたくさんある。このような機会や縁を活かすべきである。」とのお言葉をいただき、決断しました。

月信：ありがとうございます。クラブにおける思い出深い出来事を教えてください。

細淵：副幹事を担当した年度に、例会の司会やクラブ運営など活動の全体感を少しずつ把握するにつれて、奉仕や親睦を通じて、大先輩も若手も一体となることができるロータリーの醍醐味を感じるようになりました。そのため、2017年の会長年度では、「価値観を共有しよう！同じ釜の飯を食おう！」といった想いを前面に一体感の醸成に努めました。

月信：ノミニーは、洗練された国際派かと思いきや、泥臭さとのバランスも絶妙ですね。宜しければ、ポートとの出逢いを教えてください。

細淵：小中学校時には、基礎スキーをやっていましたが、高校進学時よりポートに出逢い、自然と共存する魅力に駆られ、気が付けば今に至ります。

月信：ノミニーの人生観を教えてください。

細淵：自然とともに生きる。ポートもロータリーも人と人とのコミュニケーションを大切に、まずは、受け入れて、咀嚼して、考えながら、何事も対応していければと思います。

月信：溢れる情熱をお言葉に感じます。好きな言葉を教えてください。

細淵：聖書より、「試練を耐え忍ぶ者は幸いである。」ヤコブの手紙（1章17節）（注釈：なぜ、試練に耐え忍ぶ者は幸いなのでしょう。それは試練というものが、その人をより強くし、より純粋にするからです。）

月信：ミッション系ポートマンらしい忍耐の言葉ですね。仕事や家庭観も教えてください。

細淵：会社に関わる社員だけでなく、そのファミリーの幸せを意識した経営を実現できればと思います。そのため、社員への声かけを大切にしています。家族とも、コミュニケーションを重視して、正面から対峙するようにしています。

月信：最後に今年の抱負をお願い致します。

細淵：常に学ぶ姿勢を大切に、頭の中で総括しながら、進んでいきたいです！



浦和RC事務局の高木歌織さん（左）と佐藤マミさん（右）と一緒に

部 門 セ ミ ナ ー 報 告 書

会 員 増 強 維 持 部 門

会 員 増 強 維 持 部 門 委 員 長 鶴 見 裕

本年度、会員増強維持部門は地区部門セミナーを8月10日（月）に ZOOM オンライン形式でセミナーが行なわれました。

初めての Web セミナーという事もあり事前準備・打ち合わせも通常のセミナー開催よりも多くの問題点の改善やリハーサルが必要となりました。また委員会開催もコロナ禍の困難な状態の中でありながらも、オンライン委員会の開催、正副委員長+IT が得意な小池委員に出席をして頂き少人数での打ち合わせなど安全を優先しながら、セミナーの企画・立案・書類データ作成・映像の収録・改善など、委員会メンバーに協力をいただきセミナーをスタート出来ましたが、初めてのこともあり万全の準備ができたとは言えない状況でした。



第 1 部

ズーム回線オープン 10 時 **開会** 11 時 00 分 **閉会** 12 時 30 分

出席者 地区役員、クラブ会長、増強委員長 126 名

第 2 部

ズーム回線オープン 13 時 **開会** 14 時 00 分 **閉会** 15 時 30 分

出席者 地区役員、入会 3 年未満メンバー、希望者 91 名



1 部・2 部 合計
217 名

講演者の佐京雄都さんへ講演をお願いするにあたり、テーマや固定観念にとらわれず今までの会員入会促進を願うことではなく、ありのままの気持ちを話していただく事をお願いしました。セミナー終了後には多くのロータリアンの方々から電話やメールにて講演について問い合わせがありました。有難うございます。

私共の委員会は見方を変えての会員増強維持部門セミナーでしたが、短い準備期間の中 ZOOM の多くの失敗という経験から解決策を打診し、次回へ繋げていきたい。結果的に上手になるには慣れるしか無いですが、気持ちの切り替えや若いロータリアン世代からの活発な意見も結果として引きだされたのではないのでしょうか。

オンラインセミナーという新しい人とのつながりがクラブや委員会を超えて意見や経験など集約して例会の在り方や、ノウハウの蓄積を今後とも、共有できたら幸いです。最後にセミナー参加して頂いたロータリアンの皆様に感謝いたします。

部門セミナー報告書

ロータリー財団部門

ロータリー財団部門委員長 小宮 泰二

7月の合同会議にて、すべての部門セミナーはZOOMで行うことが決定し、一週間後から財団部門委員長を行い、この初めての試みに対してどのように取り組むかを何度も話し合いました。中里ガバナーの思いもあり、第1部は会長・担当委員長向け、第2部は会員歴の浅い方を対象にプログラムを考えました。慣れないZOOMを使ってパワーポイントで画面共有しながら説明してリスクがないかなどの議論の中から、パワーポイントのスライドにナレーションを挿入して動画にしていこうという、方法を選択しました。



第1部では各委員長による委員会の報告をいたしました。報告につきましては、荒時資金推進委員長から財団への寄付の推進について、山本ポリオプラス委員長からポリオの現状について、小宮補助金VTT委員長からグローバル補助金について、その特徴や申請に至るまでの行程など、浦和東RCやさいたま新都心RCの取り組み事例などを参考に説明しました。水野財団奨学平和フェロー学友委員長からは、最近の財団奨学生の紹介平和フェローについて、三枝資金管理委員長からはMOUや授与と受諾の条件について、藤村地区補助金運営委員長からは地区補助金大口枠のプレゼンについて1位となった浦和中RCの動画を紹介した。続いてこらからの地区補助金としてディスカッションをする予定でしたが、時間が押して割愛することになりました。

今回初めての試みとして、前年度の寄付上位クラブへの感謝を、直前の三枝部門委員長と藤村ポリオプラス委員長に発表してもらいました。

第2部ではロータリー財団をわかりやすくということで、ロータリー財団の成り立ちや財団のプログラム、8月25日にナイジェリアがポリオフリーとなりアフリカ大陸からポリオが根絶されたことなどはロータリーが始めたことであることなどを説明しました。

後半は平和フェロー第17期生で7月にオーストラリアのクイーンズランド大学で平和フェローを修了しました、竹之内千明さんに平和フェローを終えてということでセミナーに参加していただきました。どうして平和フェローになったのか、平和フェローとして大学で何を学びこれからどのように経験を生かしていくかなどをお話しいただきました。この話の内容は大変素晴らしいものでありました。

初めてのZOOMでのセミナーということで、運営については多くの課題を残すものとなりましたが、結果的には成功裏に終了することができました。ご協力いただきました財団部門の皆さまには感謝申し上げます。

部 門 セ ミ ナ ー 報 告 書

公共イメージ部門
ロータリーの友地区代表委員

公共イメージ部門委員長 木村 亮

8月22日土曜日、オンラインで公共イメージ部門セミナーを開催いたしました。年頭の予定では、増強維持部門と共同開催の予定で準備を進めておりましたが新型コロナウイルス感染拡大により本年度は全部門のセミナーがオンライン化することになりました。特に公共イメージ部門は一般社会の人々に対しロータリーの印象を向上させる為の部門であります。そのセミナーがクラスターを起こしては本末転倒、公共ダメージ拡大になってしまいます。

セミナーは各クラブの会長、担当委員長向けの第一部。そして入会5年未満の会員を対象にした二部構成で行いました。

今年度、井原 實PDGは、パストガバナーで構成される諮問委員会メンバー。中里年度の地区研修リーダー。公共イメージ部門担当諮問アドバイザーと地区内でご活躍の他、第一地域のロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)もお勤めであります。セミナーのメインは井原PDGにRPICとしてのお立場で講演いただきました。本講演は30分に纏め、YouTube配信いたします。各クラブの卓話でご活用ください。

ロータリーが目指す6つの重点事項「平和構築と紛争予防」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「地域社会の発展」に「環境保全」が加わり7つとなりました。いずれも国境も宗教も政治体制も超えた人類の普遍的な課題であり、大掛かりかつ継続性が必要でロータリアンだけで良い結果を作りだすことはできません。そう、どれも広く社会を巻き込んで推進していかなければなりません。そこで直接的な奉仕活動ではありませんが、ロータリーの公共イメージ向上活動が益々重要になってきております。

公共イメージの向上、ロータリーのブランドイメージ向上はつまるところ我々ロータリアンの日々の行動によるところが大きいです。世界で良いことをするためには、近所でも良いことをしましょう。



ロータリーの友地区代表委員 梶間 順子

今月で日本のロータリーが活動を始めてから100年を迎えます。そしてロータリーの友は創刊から67年目を迎えます。長い歴史を持った雑誌ですが1975年から一冊200円という金額は変わっていません。長い間料金は変わらなくても内容はたくさんの新しい扉を開いています。とかく難しい！とか、読みにくい！と思われがちですが、そんな事は決してありません。表紙もオシャレに大変読みやすくなっています。身近なテーマやその時代、状況に合わせたテーマを考え、1人でも多くの方に興味を持って読んでいただけるような雑誌作りを心掛けています。

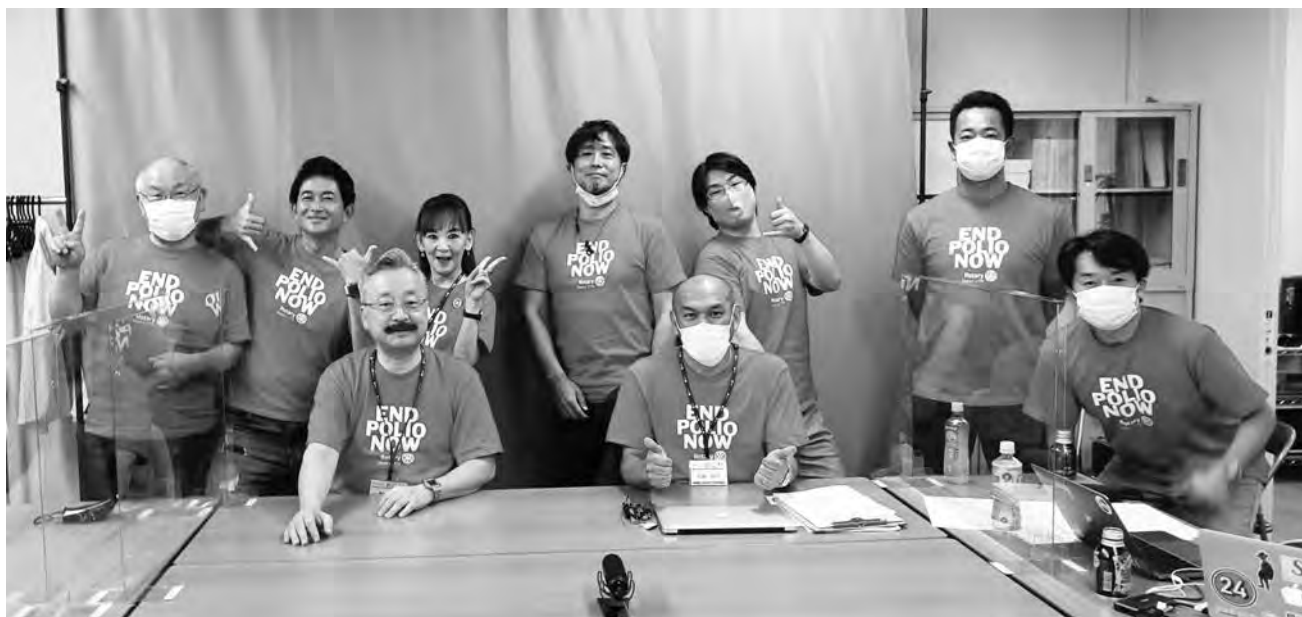
ロータリーの友を是非読んで下さい！そして投稿して下さい！投稿に関しては、写真はポーズをとったものや集合写真ではなく生き生きと活動している様子をお願いします。原稿はクラブが何を解決しようと思ったのか、そのためにどんな行動を起こしたのか、その行動によってどんな変化が生まれたのか、その辺をポイントをしばってお書き下さい！

今年度、私は皆様とロータリーの友の架け橋として活動させていただきます。ご意見、ご要望、ご質問など何なりとお申し出ください。

こんな時代だからこそロータリーの友を皆様の友の友に！

左)
木村 亮 公共イメージ部門委員長

右)
梶間 順子 ロータリーの友地区代表委員



越谷北RC

会長：須賀 篤史 幹事：関 雄二郎

令和2年9月2日

9月2日(水)、中里ガバナー、山崎ガバナー補佐、木戸幹事、小池ガバナー補佐幹事を迎え、今年度スタートとなる越谷北RCガバナー公式訪問が開催されました。コロナ禍でクラブとしてもリモートでの公式訪問も検討しましたが、ギャザホールを借りることが出来、ソーシャルディスタンスを保つ会場を整え、普段の例会開催も限られた中、会員全員で無事に中里ガバナーをお迎えすることが出来ました。

10時半に会場にお越しいただき、会長、幹事、会長エレクト、副幹事揃っての懇談会から始まりました。そして、当クラブの年度計画書のご指摘、退会防止策、共助、グローバル補助金事業、公共イメージなどRIの指標に沿ってわかりやすく丁寧に指導を頂きました。

その後、本会場にて例会、クラブ協議会が開催され、各委員会活動計画について適切、丁寧に講評と助言を頂きました。クラブとしての長期ビジョン策定に向け大変有意義な一日となりました。長時間にわたり、ご指導ありがとうございました。



久喜RC

会長：天野 正幸 幹事：倉持 政宏

令和2年9月3日

9月3日(木)、コロナの影響で、2020-21年度地区内では2番目の公式訪問でした。当日は、ハイブリット形式での例会となりましたが、中里ガバナーをリモート参加の会員も含め、会員一同で例会場にお迎えし、無事に公式訪問例会を開催することができました。懇談会では、和やかな雰囲気の中質疑応答が行われ、「久喜クラブさんは、40代から80代までのメンバーで、平均年齢約66歳と大変バランスの取れたクラブですね」とお褒めの言葉を頂きました。例会卓話では、RI基本方針、地区運営方針、RI会長のスピーチ等、分かりやすくご指導をいただき、特に、中里ガバナーのロータリーへの思いとその活動への考え方と気迫が伝わってきました。

コロナの影響もあり、思うように活動もできませんが、今期も始まったばかりですので、「新たな機会へのチャレンジ」ができるよう頑張っていきたいと思えます。長時間に渡るご指導、心より感謝申し上げます。



大宮南RC

会長：橋本 洋子 幹事：佐藤 一博

令和2年9月8日

9月8日(火)、中里公造ガバナー、嶋田悟志地区副幹事、第3グループ飯野耕司ガバナー補佐、小坂良二ガバナー補佐幹事をお迎えして、公式訪問例会が開催されました。

会長幹事懇談会では、当クラブの活動方針の概要を説明した後、事業計画書を基に中里ガバナーからコメントをいただきました。全体としては内容をきちんと網羅していて問題ないとお言葉をいただきましたが、定款・細則の一部の文言についてご指摘がありましたので再検討いたします。

例会では新会員を1名お迎えすることとなり、中里ガバナーからロータリーバッジをつけていただくことが出来ました。また卓話では、RIテーマと今年度の地区運営について動画も含めて詳しく拝聴することが出来ました。特にコロナ禍における新しいクラブ運営の形、メイクアップに関する捉え方をわかりやすくご説明いただきました。

クラブ協議会では、各部門および小委員会の内容説明について一つ一つ丁寧にコメントをいただき、一同気持ちを新たにしましたと思います。

最後に、ご多忙の中にもかかわらずご出席いただきました皆様に心より感謝申し上げ、公式訪問の報告といたします。



大宮中央RC

会長：見富 清一 幹事：藤堂 哲志

令和2年9月8日

私は挨拶でガバナーに、「今年度の執行部各委員長さんは、今まで褒められて成長してきました。これから発表する各委員会の素晴らしい「事業計画」を是非、褒めてあげてください」とお願い致しました。

実は何を質問されるのか心ワクワクでした。開口一番「年度計画書の表紙が面白い。表紙の説明文も良い」これで協議会は一瞬にして合体。和やかな雰囲気。 「環境の保全」という新たな7番目の重点分野説明から始まり、定款・細則の考え方で、これからのより良いクラブ運営の為、細部に亘りご指導いただきました。



Governor official visit

ガバナー公式訪問

草加シティRC

会長：竹内 省一 幹事：田丸 住子

令和2年9月10日

9月10日の中里公造ガバナー公式訪問例会は、草加シティロータリークラブとして4回目のガバナー公式訪問例会を行うことができました。クラブ協議会は初めてのことでありましたが、事前のリハーサルを行っていたお陰でスムーズなクラブ協議会ができました。

中里公造ガバナーは親しみやすく、わかりやすく「ロータリーの基本知識」や「社会奉仕」等多くの知識を説得力ある話術によりご指導いただき、会員全員が魅了され、圧倒されました。

ガバナーの卓話を会員全員、良く理解し、今後のロータリー活動や奉仕活動に積極的に取り組める姿勢が深まった一日でありました。

本当に中里公造ガバナーには感謝を申し上げます。



TOPICS 1

共通のルーツを探り、辿る時間(たび)

～【第1回 4クラブ合同例会】報告～

7月26日(日)、埼玉ゆず・さいたま大空・草加シティ・さいたま樺の4クラブ合同例会を開催…田村亮夫パストガバナーをはじめ、総勢34名のロータリアンが集結、友情を深めました。

この4クラブは、かつて田村パストガバナーの筆舌し難いご尽力によって設立されたという共通の“生まれ”を持つ『兄弟クラブ』…一方で、これまで、ほとんど接点がなかったこともあり、『まずは、お互いを知ることから始めよう』との趣旨の下、今回の合同例会に至った次第です。

そして当日…『お互いを知る』第一歩として行われた各クラブの活動紹介は、工夫を凝らし、その特長を余すところなく打ち出した素晴らしいもの…引き続き行われた懇親会も、『新しい生活様式』の下、制約は多かったものの、その分、各テーブルでの会話は最高潮に…活動紹介“続編”が繰り広げられました！！

そして、「お疲れ」「楽しかったよ」といった労いの言葉に包まれながらのお披露喜…早くも【第2回4クラブ合同例会】の開催が待たれる『祭りのあと』となりました。

【さいたま樺ロータリークラブ】



TOPICS 2

米山記念奨学会部門合同委員会開催



8月22日に第2回米山記念奨学部門合同委員会が開催されました。コロナ禍のためソーシャルディスタンスを確保しながら、32名もの奨学生が参加しました。地区からは中里ガバナー、松本エレクト、細淵ノミニ、田中アドバイザーが揃い、奨学生に対する期待の高さも伺えました。

今回は工藤部門委員長の発案により米山奨学生向けに、2570地区ポリオプラス委員長の柳邦明会員より「ポリオについて」、約30分のお話しをいただきました。インドでのポリオワクチン投与活動や柳会員自身のインドでのビジネス展開など、今を生きる！内容に、一生懸命に耳を傾けている姿が印象的でした。

卓話後の質疑応答でも、「30分の卓話が10分に感じた。」、「ポリオ根絶後の目標は何ですか。」、「どうしてインドでビジネスをやっているのですか？」など様々な問や感想があり、奨学生一人一人が何かを感じることが時間だったのではないのでしょうか。

学友会主催の老人ホーム訪問など、幾つかの活動は中止を余儀なくされていますが、米山奨学生として、日々勉学に励まれてください。

10月は米山月間です！ 米山月間卓話のご依頼お待ちしております！

米山記念奨学部門委員長 工藤 篤志



TOPICS 3

ブライダルサポーター会議開催

日頃より社会奉仕部門の活動にご理解ご協力を頂きありがとうございます。

8月30日、ブライダル委員会肝いりの未だかつてない画期的イベント『ブライダルサポーター会議』が、盛大に開催されました。少子化の中、将来の幸せの種まき、米山や青少年育成にもつながる究極の人材育成ともいえる、幸せのコーディネーターとして、2770地区独自のブライダル事業を盛り上げるための活性化作戦が、ブライダルサポーター会議です。これにより、各クラブにブライダル委員会の仲間が配置されたわけです。

当日の会議は、単なる座学的なものを排し、参加者皆で作り上げるワークショップ型で、参加者意識を高めて頂くべく、どうしたらブライダル事業が盛り上がるか、その問題点と対策をチームに分かれて大いに語りあい、最後はその成果をチームで発表し合いました。これをリアル会場とzoom会議のハイブリッド式で行えたことは、今後のロータリークラブ活動にも大いに新しいヒントになったと思います。中里ガバナーやブライダルコーディネーターの方々にもご参加頂き、とても楽しいワクワクが止まらない有意義なひとときを皆で共有しました。

これを機に、ブライダルサポーターと会長幹事様を中心に、素敵なブライダル登録者をたくさんご推薦頂きたいです。これからの社会奉仕部門の活躍にご期待ください！

社会奉仕部門委員長 紅谷 弘二



国際ロータリー第 2770 地区
2020-21 年度

地区大会のご案内

大会テーマ ロータリーでの出逢いに感謝

2020-21 年度の地区大会は、大会テーマ「ロータリーでの出逢いに感謝」を掲げ、RI 会長代理として直前 RI 理事、ロータリー財団管理委員会特別アドバイザーの三木明様 (2680 地区 PG) ご夫妻をお招きし、11月15日をメインとして川口総合文化センターリリアで開催いたします。

14 日は、講師として元 RI 理事、ロータリー財団管理委員会委員 (2016-20 年度) 北清治様 (当地区 PG) による講演、RI 会長代理ご夫妻歓迎晚餐会を実施いたします。今回はコロナ禍での大会を考慮し、地区外のご来賓は姉妹地区である韓国 3750 地区を含め、招待を控えることといたしました。また、RI でもオンライン化を推奨していることから、当地区でも「オンライン元年」と位置付け、本会議場とオンラインを併用するとともに出来る限りのコロナ感染対策を行い、例年の参加人数に十分対応できる体制を整えました。

15 日の記念講演は、東南アジアで医療活動に従事されていますテレビでもおなじみのジャパンハート最高顧問吉岡秀人様です。また、最後のお楽しみとして大抽選会もごさいます！全員登録をよろしくお願いいたします。

11月14日(土)

歓迎晚餐会

ロイヤルパインズホテル浦和 4F ロイヤルクラウン

【講演】

16:00 登録開始

16:30 挨拶

16:35 講演 講師：北 清治 氏 元 RI 理事、ロータリー財団管理委員会委員 (2016-20 年度)
「国際ロータリーの方向性 & クラブ適応力と進化」

【RI 会長代理ご夫妻 歓迎晚餐会】

18:00 開宴

20:00 閉宴

地区大会

川口総合文化センターリリア メインホール

【本会議】

11:30 登録開始

12:30 点鐘 / 開会の言葉 紹介・歓迎の言葉

12:57 RI 会長代理挨拶及び RI 会長メッセージ

ガバナー挨拶及び地区現況報告

来賓祝辞 / 記念品贈呈・表彰

14:20 会員スピーチ 北本 RC 佐京 雄都

15:00 川口市立高等学校吹奏楽部演奏

15:40 青少年交換学生・財団奨学生・米山記念奨学生紹介

16:20 地区内クラブ紹介

16:50 記念講演 講師：吉岡 秀人 氏 特定非営利活動法人ジャパンハート最高顧問

「これからの国際貢献～25年以上アジアの途上国 医療の最前線で闘う医師からのメッセージ」

17:50 RI 会長代理所感、ガバナー謝辞

18:00 点鐘

【大抽選会】

18:15 開会 / 大抽選会

18:50 閉会

11月15日(日)

ホストクラブ
コ・ホストクラブ

川口モーニング RC
川口 RC
鳩ヶ谷 RC
川口東 RC
川口 / 鳩ヶ谷武南 RC
川口南 RC
川口シティ鳩ヶ谷 RC
埼玉ゆず RC

●ロータリー国際大会のご案内●

2021 年 6 月 12 日 (土) ～ 2021 年 6 月 16 日 (水)
台北 (台湾)

ガバナーナイト 2021 年 6 月 12 日 (土)

ロータリー財団

大口寄付 \$ 75,692.00	大口寄付 \$ 69,721.62	大口寄付 \$ 40,000.00	大口寄付 \$ 20,902.85	大口寄付 \$ 20,042.00	大口寄付 \$ 14,547.43	大口寄付 \$ 14,200.00
						
井橋 吉一 (越谷) 令和2年8月26日	森田 武司 (大宮北東) 令和2年8月18日	吉野 寛治 (越谷) 令和2年8月26日	本多 重康 (八潮みらい) 令和2年9月15日	山形 照之 (岩槻東) 令和2年7月21日	島根 常二 (越谷東) 令和2年8月17日	島村 健 (上尾) 令和2年8月20日

ロータリー財団

大口寄付 \$ 13,200.00	大口寄付 \$ 13,000.00	大口寄付 \$ 12,603.35	大口寄付 \$ 12,064.00	大口寄付 \$ 10,668.74	大口寄付 \$ 10,302.82	マルチブル (7)
						
神戸 廣通 (越谷) 令和2年8月26日	宇田川 初夫 (三郷) 令和2年7月28日	中村 昇 (越谷東) 令和2年8月17日	寺門 孝彦 (春日部) 令和2年8月19日	荒 隆一 (川口) 令和2年7月21日	久保 和夫 (浦和ダイヤモンド) 令和2年7月31日	宮本 和寿 (岩槻東) 令和2年7月21日

ロータリー財団

マルチブル (7)	マルチブル (6)	マルチブル (6)	マルチブル (6)	マルチブル (6)	マルチブル (5)	マルチブル (5)
						
江原 武男 (越谷) 令和2年8月26日	須賀 定吉 (越谷) 令和2年8月26日	鈴木 尹宏 (川口/鳩ヶ谷武南) 令和2年8月31日	斉藤 勝 (八潮) 令和2年7月28日	田口 武 (春日部) 令和2年8月5日	高橋 靖 (春日部西) 令和2年8月7日	菅野 健記 (川口/鳩ヶ谷武南) 令和2年7月31日

ロータリー財団

マルチブル (5)	マルチブル (4)	マルチブル (4)	マルチブル (3)	マルチブル (3)	マルチブル (3)	マルチブル (2)
						
瀬田 秀樹 (八潮) 令和2年7月28日	中山 晋 (川口/鳩ヶ谷武南) 令和2年7月21日	小山 清 (上尾西) 令和2年8月28日	中野 重雄 (春日部西) 令和2年9月9日	小山 重治 (戸田西) 令和2年9月2日	鈴木 茂伸 (戸田西) 令和2年6月28日	進藤 博司 (大宮) 令和2年8月21日

ロータリー財団

マルチブル (1)	マルチブル (1)	マルチブル (1)	マルチブル (1)	ポールハリスフェロー	ポールハリスフェロー	ポールハリスフェロー
						
近藤 正成 (越谷) 令和2年8月28日	江藤 真吾 (越谷) 令和2年8月26日	宮内 弘好 (八潮みらい) 令和2年9月15日	朴 昶吾 (八潮みらい) 令和2年9月15日	橋本 真一 (浦和ダイヤモンド) 令和2年7月31日	宇多村 海児 (上尾) 令和2年8月20日	高橋 洋一 (八潮みらい) 令和2年9月15日

ロータリー財団

ポールハリスフェロー	ポールハリスフェロー	ポールハリスフェロー	ポールハリスフェロー	ポールハリスフェロー	ポールハリスフェロー	ポールハリスフェロー
						
木村 淳一 (越谷) 令和2年8月26日	竹内 裕司 (大宮) 令和2年8月7日	大沢 日出夫 (越谷) 令和2年8月26日	中島 雅樹 (越谷) 令和2年8月26日	中村 守 (越谷) 令和2年8月26日	関口 英子 (戸田西) 令和2年6月28日	田島 秀克 (戸田イブニング) 令和2年6月28日

ロータリー財団

ポールハリスフェロー	ベネファクター	ベネファクター	ベネファクター	ベネファクター	米山功労者メジャードナー (49)	米山功労者メジャードナー (33)
						
寺岡 修 (戸田イブニング) 令和2年6月28日	星野 晃輝 (浦和) 令和2年7月30日	高木 良信 (鳩ヶ谷) 令和2年7月22日	春山 敏實 (越谷) 令和2年8月26日	菊池 和彦 (岩槻東) 令和2年7月27日	森田 武司 (大宮北東) 令和2年8月18日	高田 啓一 (川口シティ鳩ヶ谷) 令和2年7月31日

米山奨学会

米山奨学会

米山功労者メジャードナー (23)	米山功労者メジャードナー (22)	米山功労者メジャードナー (20)	米山功労者メジャードナー (15)	米山功労者メジャードナー (12)	米山功労者メジャードナー (12)	米山功労者メジャードナー (11)
						
駒崎 繁夫 (戸田西) 令和2年6月27日	井橋 吉一 (越谷) 令和2年8月26日	高橋 靖 (春日部西) 令和2年8月7日	島根 常二 (越谷東) 令和2年7月31日	岩淵 秀一 (越谷南) 令和2年7月31日	田村 晃佑 (春日部) 令和2年8月19日	寺門 孝彦 (春日部) 令和2年8月19日

米山奨学会

米山功労者メジャードナー (10)	米山功労者マルチブル (9)	米山功労者マルチブル (8)	米山功労者マルチブル (8)	米山功労者マルチブル (6)	米山功労者マルチブル (6)	米山功労者マルチブル (6)
						
高橋 明賢 (川口モーニング) 令和2年8月25日	岩井 良彦 (大宮) 令和2年8月7日	江原 武男 (越谷) 令和2年8月26日	神戸 廣通 (越谷) 令和2年8月26日	川田 金造 (蓮田) 令和2年9月10日	森田 武行 (川口モーニング) 令和2年8月25日	吉野 寛治 (越谷) 令和2年8月26日

米山奨学会

米山功労者マルチブル (5)	米山功労者マルチブル (5)	米山功労者マルチブル (3)	米山功労者マルチブル (3)	米山功労者マルチブル (2)	米山功労者マルチブル (2)	米山功労者マルチブル (2)
						
中野 重雄 (春日部西) 令和2年9月9日	丹野 寿明 (岩槻東) 令和2年7月27日	園部 博士 (春日部) 令和2年8月5日	秋葉 功四郎 (蓮田) 令和2年9月10日	熊谷 ほの (川口モーニング) 令和2年8月25日	大澤 辰男 (八潮) 令和2年7月28日	本多 信太郎 (川口モーニング) 令和2年8月25日

米山奨学会

米山功労者マルチプル (2)	米山功労者マルチプル (2)	米山功労者	米山功労者	米山功労者	米山功労者	米山功労者
						
平良 嘉浩 (八潮みらい) 令和2年9月15日	坂入 義完 (八潮) 令和2年7月28日	近藤 正成 (越谷) 令和2年8月26日	江藤 真吾 (越谷) 令和2年8月26日	黒川 幸博 (川口モーニング) 令和2年8月25日	近藤 憲明 (蓮田) 令和2年9月10日	高橋 洋一 (八潮みらい) 令和2年9月15日

米山奨学会

米山功労者	米山功労者	米山功労者	米山功労者	米山功労者	米山功労者	米山功労者
						
飯淵 昭二 (岩槻東) 令和2年7月27日	大沢 日出夫 (越谷) 令和2年8月26日	小暮 直正 (越谷) 令和2年8月26日	中島 雅樹 (越谷) 令和2年8月26日	横家 豪 (越谷) 令和2年8月26日	佐藤 龍 (川口) 令和2年8月25日	関 信行 (八潮) 令和2年7月28日

米山奨学会

米山功労者	準米山功労法人
	
寺岡 修 (戸田イブニング) 令和2年6月27日	(有) オーク (春日部西) 令和2年8月31日

新 会 員

米山功労者	米山功労者	米山功労者	米山功労者	米山功労者	米山功労者	米山功労者
						
奥村 祐作 (さいたま新都心) 令和2年7月27日入会 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険	笹村 正二 (さいたま新都心) 令和2年7月27日入会 株式会社コハバ77ヤシロ城玉カバ タイヤ卸業	田口 正規 (さいたま新都心) 令和2年7月27日入会 あいこセイ同和損害保険株式会社 損害保険	清宮 尚也 (北本) 令和2年7月30日入会 合同会社笑夢 福祉	長島 豊 (浦和東) 令和2年8月6日入会 三井住友信託銀行株式会社浦和支店 金融 (銀行)		

新 会 員

米山功労者	米山功労者	米山功労者	米山功労者	米山功労者	米山功労者
					
吉田 馨 (川口) 令和2年8月6日入会 株式会社ソレイユ埼玉・東日本川口・戸田局 IT・通信業	出口 昇 (越谷東) 令和2年8月20日入会 デグチ両洋メディア株式会社 新聞業	松田 靖史 (さいたま中央) 令和2年8月27日入会 日清医療食品株式会社北関東支店 医療給食受託業務	石川 達 (浦和) 令和2年8月28日入会 東日本電信電話株式会社埼玉事業部 通信事業	平 匠子 (浦和) 令和2年8月28日入会 日本放送協会さいたま放送局 放送	岸 雅則 (久喜) 令和2年9月3日入会 財務クリニック株式会社 財務コンサルタント

P11 ローターリー財団ならびに 米山奨学金寄付者



× 大塚 伸郎 (上尾)
○ 大塚 信郎 (上尾)

P12 米山奨学会寄付者



× 富永 健 (上尾)
○ 富永 建 (上尾)

訂正
9月号にて誤りがございました。
訂正し、お詫び申し上げます。

訂正



仙波 邦博
(さいたま新都心)
2020年8月26日逝去
享年84歳

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。



1. 理事会・評議員会の決議事項

8月19日に開催を予定していた第26回理事会は、新型コロナウイルスの影響からやむなく開催を断念し、6月の理事会に続き、書面決議となりました。一般法人法第96条（定款第37条）に基づく「理事会の決議の省略」の方法により、8月24日付で全提案について、原案通り承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされました。

【第26回理事会の主な議案】

2020年度後任評議員候補者／2020年度理事・監事候補者／2019年度事業報告／2019年度計算書類／2020年度収支予算書一部修正 ほか

また、9月10日開催予定の第11回定時評議員会についても、同様の理由で通常開催は回避し、書面決議となりました。今回は、2年に一度の理事・監事の改選が行われ、各地区から推薦され、理事会の承認を経て上程された全34地区の理事候補者と3人の監事候補者につい

て、全評議員による個別承認方式での承認が行われました。本件とその他の協議事項（4地区の後任評議員候補、2019年度の計算書類の承認等）を合わせた全4議案について、一般法人法第194条（評議員会の決議の省略）に基づき、9月10日付で承認可決する旨の評議員会決議があったものとみなされました。

なお、同日付で、役員候補者指名委員会から推薦された下記役員候補者について、2020年度理事・監事による承認の旨の書面決議が成立しました。

理事長：齋藤直美（2760）

副理事長：山崎淳一（2830） 水野 功（2750）

常務理事：井原 實（2770） 相澤光春（2780）

滝澤功治（2680） 駒井英基（2740）

業務執行理事：水野 功（2750）

2. 日本に入国できない奨学生のメッセージ

新型コロナウイルスの水際対策として日本が行っている外国人の入国制限措置により、出国したまま4月以降も日本へ戻ってくることができない現役奨学生がいます。こうした奨学生はメールやSNSで世話クラブと連絡を取りながら、オンラインで例会に参加するなど工夫をしています。母国で日本へ戻る日を心待ちにしている奨学生たちの声を「奨学生報告書」から抜粋して紹介します。



マレーシア
秋田東 RC

1カ月の予定でマレーシアに帰省しました。日本へ戻る飛行機のチケットも取っていましたが、3月末までに2回もキャンセルされ、手配に奔走するうちに日本の入国制限が始まり、留学ビザの有効期限も切れてしまいました。4月からはオンラインで講義を受け、課題をしたり、論文を書くための文献を読んだりしました。指導教官の先生とはZoomで研究の進捗報告や相談をしています。

今日、秋田大学から在留資格認定証明書をいただけたので、日本大使館のビザ申請センターが開き次第、申請しに行きます！ビザが取れたらすぐに日本へ戻って、和食を食べて、ロータリークラブの皆様会いたいです。



韓国
東京新宿 RC

日本の友達が私を忘れたらどうしよう、日本にいる人たちはもう私のことを気にしないだろう、と思った日。カウンセラーからメールが来ました。定期的な連絡はしていましたが、この日のメールは日本へ入国できるようになりそうだという内容でした。メールを読んだ瞬間、まだ直接会ったことはないが、私が日本に帰ることを心から待っていてくれる人がいるということに、感動しました。

ごこない新しい日常に慣れていますが、こうも考えます。新しい日常とは、今までのすべてが変わるわけではないのかもしれないと。人との間にある温かい真心が互いを感動させるという点では変わらないのだということ。

3. ナイジェリア大統領からの称賛

幼い頃に父親を亡くし、経済的理由から母国大学を中退せざるを得なかったイケナさん。働きながらチャンスを待ち、国費奨学金により日本への留学を果たしました。筑波大学大学院在籍中の2018-19学年度に米山奨学生となり、現在は博士課程に進学して母国の国内情勢について研究しています。

今年6月、帰宅中に財布の落とし物を発見したイケナさんはすぐに交番へ届け、報労金の説明にも「いらないです」と答えて交番を後にしました。5日後、落とし主からお礼の電話をもらってホッとしていたところ、この一連の行動がナイジェリア大統領の耳に届き、7月に「正直で誠実な行動を誇りに思う」という称賛のメッセージが大統領特別顧問により発表されました。このことが話題を呼び、日本の各メディアにも取り上げられました。



「日本のロータリアンの皆さま、水戸南RCのみなさま。米山奨学金のおかげで私は修士課程を修了することができました。このご恩をいつまでも忘れず感謝いたします。人種・地位・言語によって私を差別することなく対等に扱っていただきありがとうございます。私が素敵な経験をする手助けをしていただきありがとうございました。皆さまからいただいたこと、すべてに感謝申し上げます」

オリエンテーションにて▶

「日本のロータリアンの皆さま、水戸南RCのみなさま。米山奨学金のおかげで私は修士課程を修了することができました。このご恩をいつまでも忘れず感謝いたします。人種・地位・言語によって私を差別することなく対等に扱っていただきありがとうございます。私が素敵な経験をする手助けをしていただきありがとうございました。皆さまからいただいたこと、すべてに感謝申し上げます」



4. 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は前年同期と比べて3.7%減（普通寄付金:4.7%減、特別寄付金:2.0%減）、約1,200万円の減少となりました。

当会へご報告いただいた7月1日現在の会員数を昨年同期と比較すると、全国で約2,200人減少しています。また、コロナ禍による困難な経済状況にもかかわらず、皆さまからご支援い

ただいていることに深く感謝申し上げます。

当財団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当奨学会への寄付金には所得税、法人税の財政優遇が受けられます。相続税も非課税となります。

今年度もぜひ、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

5. 今年度の米山月間資料はこちら！

10月はいよいよ米山月間です。今年も米山月間用資料を全国の皆さまへお届けします。

毎年恒例の『豆辞典』は、米山記念奨学事業についてほぼ網羅されている小冊子。会員数分お送りしますので、1人一冊お手元にお持ちください。また、『米山学友の群像 学友会特集号』は、「ロータリーの友」に2年間連載した学友会の紹介をまとめた一冊です。そのほか「クラブ米山記念奨学委員長の手引き（寄付マニュアル合併）」「2019年度事業報告書」「2019年度決算報告」を送付します。

追加資料のお申し込みは、同封の「追加資料申込書」に記載の上、お送りください。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当 : 野津(のづ)・峯(みね)



2020年 8月 26日

ガバナー 各位

ロータリー文庫運営委員会

委員長 青木 貞雄

拝啓 残暑の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、常々ロータリー文庫へのご協力を心から感謝いたしております。

今回は、下記4点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載くださるようお願いいたします。

敬具

文 庫 通 信 [383]

ロータリー文庫通信383号 2020年8月 R I 理事会議事録を読む

近い将来、ロータリー文庫を電子図書館にする計画です。7月1日から資料を閲覧するには下記のようにログインパスワードが必要になりました。各ガバナー事務所から各クラブ事務所経由でロータリアンの皆様へユーザー名とパスワードの周知をお願いしました。これまでの図書館は来館しなければ資料を閲覧できませんでした。電子図書館になればいつでもどこでも閲覧できるようになります。

文庫通信は、所蔵或いは寄贈された文献の中から、その都度ガバナー月信を通じて、選別した資料を紹介してきました。これからはロータリアン自らが資料をホームページ上で検索し閲覧することになります。電子図書館が充実すれば、ガバナー事務所を経由する文庫通信はなくなり、HP上だけの紹介になります。

今回は、公開された最新の2020年1月のR I 理事会議事録とその日本語版を紹介します。4月6月のR I 理事会議事録は未だ公開されておりません。抄録のみが公開されています。日本語版は、斎藤元理事の仲介によりR I 理事会で承認された翻訳タスクフォース委員会により翻訳された非公式の議事録です。

併せ、翻訳委員会、翻訳タスクフォース委員会の設立経緯についての資料を紹介いたします。尚、2018年4月から2020年1月までの議事録がロータリー文庫に収録されています。（文責：新藤）

書 名	著者/出版社	発行年	頁	※
RI 理事会議事録 2020年 1月 英語版	- R.I.	2020	26P	※
RI 理事会議事録 2020年 1月 日本語版	- R.I. 翻訳タスクフォース委員会	2020	54P	※
翻訳委員会・翻訳タスクフォース委員会	刀根荘兵衛 敦賀 R.C.	2019	6P	※
ロータリーの職業奉仕の現状と未来（第2610地区職業奉仕講演会）	刀根荘兵衛 敦賀 R.C.	2020	85P	※

上記 ※印はデジタル化されている資料です。

ロータリー文庫ウェブサイト
文献の閲覧は会員限定になります

ロータリー文庫検索サイトで文献を閲覧するには、ログインパスワードが必要になります。利用方法は、

①検索画面で文献を検索、②検索結果から閲覧したい文献の項目「※」をクリック。該当 PDF のリストが表示されます。③「●●.pdf」リンクをクリック。ログイン画面が表示されます。④ユーザー名とパスワードを入力すると、PDFが閲覧できます。ユーザー名、パスワードは各ガバナー事務所を通じてクラブに送付いたしております。

お問い合わせ
 ロータリー文庫

ウェブサイト www.rotary-bunko.gr.jp
 〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
 Tel.03-3433-6456 Fax.03-3459-7506

オンライン例会、ハイブリッド例会を開催しませんか

新型コロナウイルス(以下「コロナ」)の感染拡大が止まりません。感染者の確認は全都道府県に及び、大都市圏では毎日のように「過去最大の感染者数を記録」と報道されています。そのような中、しばらく例会を休止していたロータリークラブも、6月の緊急事態宣言の解除を受けて、ほとんどのクラブが例会を再開したようですが、どのような形で再開されたのでしょうか。

国際ロータリーは、コロナによるパンデミックを受けて、地区およびロータリークラブとロータリーアクトクラブが、会合やイベントをオンラインで行うか、中止または延期とすることを推奨しました。そこで、多くの地区やクラブが予定されていた会合のいくつかをオンラインで開催しました。それらの経験を通じ、今やオンラインによる会合の開催は、「特別なこと」ではなく、「選択肢の一つ」になりつつあるように思います。しかしその目的は情報の伝達や意見交換程度にとどまり、クラブが例会そのものをオンライン形式で開催したという例はまだまだ少ないようです。

私の個人的な経験ですが、関係しているいくつかの団体のうち、理事会などをオンラインで開催したところもあれば、机の配置などを工夫してあくまでも対面式の会合にこだわったところと様々でした。これはどうやらそれぞれの法人の監督官庁の指導によるものと推測されます。今、公益法人では、「出席者間の協議と意見交換が自由にでき、相手方の反応がよく分かるようになっている場合、すなわち、各出席者の音声や映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みになっており、出席者が一堂に会するのと同等の相互に十分な議論が行うことができるという環境」であれば理事会等をWEB会議などのオンライン形式で開催してもよいという考え方が一般的なようです。

この「出席者間の協議と意見交換が自由にでき、相手方の反応がよく分かるようになっている」という考え方は、ロータリークラブの例会にも当てはまりませんか。互いの映像を見ながら、画面を通して直接会話することができれば、顔と顔を合わせての会合に劣らない交流を図ることができるのではないのでしょうか。

標準ロータリークラブ定款第7条(会合)第1節(例会)(b)には「会合の方法。例会は、直接顔を合わせるか、電話で、オンラインで、またはオンラインの参加型の活動を通じて開催することができる。」と規定されています。クラブ細則でオンライン例会を明示的に禁止していない限り、どのクラブでも理事会の決定で次週の例会からオンライン形式を採用することは可能であるはずですが、これまでの慣習を重んじて対面式にこだわっているクラブが多いように見えます。全員がオンラインで出席するのは寂しいと思われるなら、対面式とオンライン形式を併用した「ハイブリッド例会」はどうでしょうか。実際に出席した会員と、オンラインで出席した会員が画面を通して会話をしたり、一緒に卓話を聞いたりすることができる例会です。それでもまだ会員の中に抵抗があるようでしたら、クラブ細則で、会員がオンラインで例会に出席する回数に上限を設けるのも一案でしょう。

コロナによる影響をマイナスばかりではなくプラスに転じるように、オンライン例会に挑戦し、あなたのクラブの活性化のきっかけにしましょう。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 滝澤 功治(神戸須磨RC)

VOL.1

コーディネーターS

2020年9月号 Region1&2&3

ご挨拶

本年度より第3地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐を拝命致しました第2670地区(新居浜ロータリークラブ)の桑原征一と申します。浅学非才の身ではありますが、関係各位の皆様方のご指導を頂きながら、与えられた責務を全うしていきたく思いますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

さて、先ずは昨年度の地区ガバナー、各委員長、又、各クラブの会長、幹事、委員長他、全ての皆様方に感謝申し上げます。一年間本当にご苦労様でした。新型コロナの感染拡大の中、皆様方が計画された多くの活動が中止や延期となった事と思います。多くの人の想いを込めた事業を中止せざるをえなかった無念と失望は如何ばかりかと、拝察いたします。皆様方のロータリーに対する情熱や想いは事業が中止されたからといって、けつて消えるものではありません。この体験を次の方々に引き継いで、更に活発なロータリー活動につながるよう、ご尽力をお願い申し上げます。

また、本年度の地区、クラブの役員の皆様方、日本全国、コロナの大きな影響を受けている大変な時期に地区ならびにクラブの運営を担当される事、誠に苦労様でございます。地区協議会やその他の会合を開催出来なかった地区もあるかと思ひます。自らの想い、情熱を直接肉声で届けることが出来ず、手探りで、地区または、クラブの運営に当たらざるを得ないもどかしさを感じられていることと思ひます。

残念ながら、現在の状況は我々が、対応策を講じなければなりません。今の時期こそ、地区役員、クラブ役員の英知を結集しなければならない時期だと思ひます。コロナは何時終息するかわかりません。今この状況のなかでのロータリーの活動の在り方を見直してみたいかがでしょうか。ピンチを変革のチャンスと捉え、あらゆる方策を模索してみたいと思ひます。新しいタイプのロータリー活動が生まれてくるかも知れません。考えてみるとワクワクしませんか。クラブ運営や地区運営にWEBを活用することで、地域社会との連携に大きな効果が出るのではないのでしょうか。

ロータリー活動の基本は毎週一回の例会出席にあり、例会での会員同士の親睦が奉仕活動の活力の源泉であると信じております。ただ、それがかなわない時には、別の方策を考えなければなりません。どうか、各地区、各クラブの皆様方には、色々な方策をそれぞれ、検討していただきたいと思います。それが次の時代のロータリー活動の大きな力の源になると思ひます。

今こそ、ロータリーの真の力を発揮する時です。みんなと一緒に頑張りましょう。

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 桑原 征一(新居浜RC)

VOL.2

国際ロータリー第2770地区 地区事務所 の紹介です !!

月信:今回は、地区事務所に電話を掛けるといつも朗らかにご対応をいただけるお二人にお話を伺います!

月信:お忙しいところありがとうございます。まずは、自己紹介をお願い致します。

橋本:橋本珠実(はしもとたまみ)です。川口東RC事務局の方のご紹介で、渡辺年度の後半から地区事務所にお世話になっております。

春木:春木儒美(はるきひとみ)です。2020-21公共イメージ向上委員会中島委員長の会社で戸田西RCの週報作りを担当していました。事務局の方にご紹介いただいたことがきっかけで、2020年6月よりお世話になっています。勤務がスタートしてまだ数カ月ですが、橋本さんに教えていただきながら、勉強の日々です。

月信:地区事務所のお仕事内容を教えてください。

橋本:地区事務所の事務局として各クラブや各部門の事務的な調整、ガバナーエレクトの準備など絶えず動きがあります。多くの事柄が同時並行に進展するため、早め早めの対応を心掛けています。

月信:地区において無くてはならない役割を担われているのですね。いつもありがとうございます!話は変わりまして、少し私的なお話を。お二人の特技を教えてください。

春木:最近ロードバイクを始めました。かなりハードですので、楽しく健康増進になっています。また、日々愉しく食べることも特技です!

橋本:オリンピック種目になる前ですが、シンクロナイズドスイミングの代表選手でした。

月信:それは、どういうことですか??

橋本:これからの競技でありますシンクロを勧められました。オリンピック種目となる前でしたが、国際大会にも出場しました。その後のオリンピック代表選手は私の後輩ですね。ハハハ。

月信:お電話の対応に風格が感じられる理由がわかったような気がします。

月信:次に、地区内の多くのロータリアンと接点があると思いますが、どのような印象をお持ちですか。

橋本:個を尊重してくださる方や、しっかりとご挨拶いただける方が多く、気持ちよくお仕事をさせていただいています。

月信:お褒めの言葉ありがとうございます。一方で残念なケースも忌憚なく教えてください。

橋本:あまりないですね。

月信:そのほか、メッセージなどございましたら。

橋本:人知れずの苦労もあると思います。クラブの事務局さんと連携をとっていただけると良いと思います。

月信:灯台下暗しでした。スムーズな地区運営のために欠くことのできないお二方です。お身体に気を付けて、今後もどうぞよろしくお願い致します。



左：春木儒美さん 右：橋本珠実さん

2020～21年度 2770 地区バッジデザイン案に載せた想いについて

中里ガバナーノミニー(当時)から地区バッジのデザインを依頼されたときは自分でも意外なくらいに気軽に考えていました。イエスとハイしか返事の選択肢がないロータリアンですから依頼する方も相当な覚悟を持って依頼されたのだらうと今なら思えますが、当時は全くその重みすら感じていませんでした。しかし、時とともにその重圧が重く・・・

デザイン案の検討を始めると、いろいろなことが頭の中をめぐります。中里年度を記憶に残る年度にしたい。自らつけたくなるバッジにしたい。このバッジを見た世界中のロータリアンに日本への興味を持ってもらいたい。それにはどんな要素を盛り込めばよいのだろうか？

日本が世界に誇れるものは何なのだろうか？

歴史と伝統

几帳面さ

勤勉さ

繊細さ

強い絆

結束力

素材として日本を感じられるものは何だろうか？

和紙

扇

布地

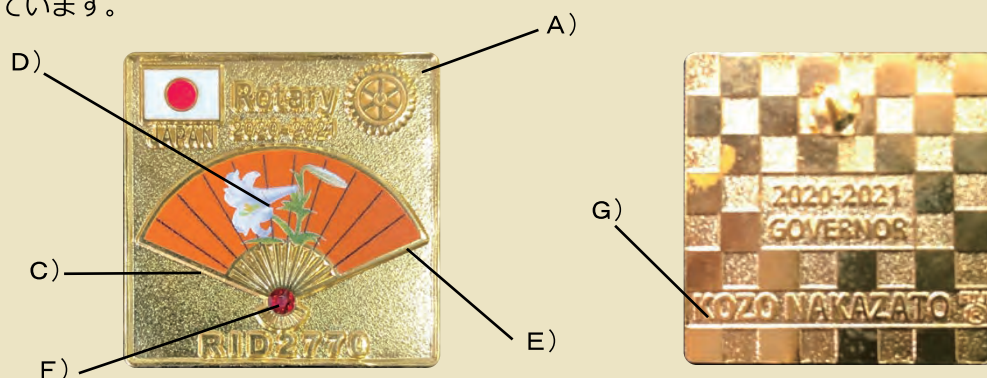
伝統的な紋様



全体イメージとして目指したものは？

2770 地区の 12 グループの強い絆・結束力を表現し、その要として中里ガバナーが輝く日本の伝統と技術力を感じられるように製作限界を追求表側だけでなく裏側にも細心を尽くす日本のロータリアンの心づくしの特質を表現

※創立 35 周年を迎える川口モーニングロータリークラブから二人目のガバナーが誕生したことはクラブ会員としてとてもうれしく名誉なことであると感ずます。会員としての誇りを感じられるように扇には朝焼けをイメージした色を選定し川口市の花である白い鉄砲ユリの花をより美しく見せるための背景としています。



A) 日本の持つ「伝統」「美しさ」「繊細さ」「結束力」「強い絆」を表現したい

B) 大きさは、25 ミリ × 25 ミリの正方形とする

C) 全体構成は、ベースとなる正方形の板に扇を立体的に載せる形状とする扇の部分が立体的になると良い

D) 扇のバランスは、縦長に見えないように大きく開いた形状とする。和紙が貼られている部分の地の色は、朝焼けの空の色をイメージした淡い色調のオレンジ系の色とし、そこに川口市の花「鉄砲ユリ」の白い花が咲いているというイメージ

E) 扇の骨は、全部で 12 本とする (12 グループを表す)。骨の表現は、力強いがなるべく繊細な線で表現する

F) 扇の要の部分に、キラリと光る石を埋め込む (12 グループを統括するガバナーを表す)

G) バッジの裏面に、ガバナー名の表示。市松模様に浮き彫りにしたい。(刻印ではない)

H) 表も裏も手を抜かないという日本の産業の精神と技術力を表現したい



提案・設計 静谷 雅人 (川口モーニング RC)

ファミリーロータリアン

え？ ご夫婦で会長・幹事??

篠田和幸・高子ご夫妻 川口西RC

月信：今回はご夫婦でクラブの会長幹事を務められています川口西RCの2020-21年篠田和幸会長、篠田高子幹事ご夫妻の大邸宅にお話を伺いに参りました！

本日はお忙しいところありがとうございます。クラブでも会長・幹事、自宅でも会長・幹事の関係は、どんなものでしょうか。

会長：いつも一緒にいますので、家庭もクラブもとてもスムーズです。

幹事：何でも遠慮なく相談できるので意思決定が早いです。デメリットはないと思います。

月信：入会歴を教えてください。

会長：当クラブの方に誘われまして、2016年3月に入会しました。(お父様もロータリアンです)

幹事：当初ロータリーは敷居が高いイメージがありましてのでお断りしていましたが、ハロウィンやクリスマス例会に参加して、皆様個性的で素敵な方ばかりでしたので、2018年4月に入会しました。

月信：会長様が幹事を指名されたということによろしいのでしょうか。

会長：もちろんです。 **幹事**：快く承諾しました！

月信：さかのぼってのお二人の関係を教えてください。

会長：中学校の同級生です。中学の頃からあこがれの存在でした。当時、告白しましたが、断られてしまいました。



月信：えっ??

幹事：まじめな学生でしたので、異性との交際は慎んでおりました。

月信：えっ??

月信：その後、どのようなかたちで再会されたのでしょうか。

会長：中学校の同窓会で再会しました。再会後はゴルフや観劇など親交を深めていきました。

月信：どんどん押されたのですね？

幹事：はい。そうなんです。(笑) 自然な流れで一緒に過ごし、夫婦になりました。



月信：誠実さが最後に勝ちましたね。せっかくですので、片思いをしているロータリアンにメッセージをお願い致します。

会長：まじめに生きていたらきっといいことがあります！頑張ってください！

月信：実感がこもっています。最後にこれからの人生プランについて教えてください。

幹事：仕事も、ロータリーも、家庭も楽しく、いつも笑顔で過ごしていきたいですね。

会長：幸せを感じながら、いろんなところに一緒に旅行に行きたいです。9月8日は私の誕生日でしたので、二人で館山に行き、ゴルフと釣りを堪能してきました。(笑)

月信：インタビューを通し、とてもおおらかな性格の会長と細やかな心配りができる幹事だと感じました。どこまでも仲睦まじい会長幹事ご夫妻でした！ありがとうございました。

インタビュー：月信担当 地区副幹事 大竹・福蘭

同好会紹介

♪ 軽音楽部 川口RC ♪

メンバー募集! 地区内外の横断的な同好会活動!

今回は、**川口RC**のメンバーを中心に活動している**軽音楽部**をご紹介します。

代表の**篠田元一**さんは、ピアノ&キーボードのプロのミュージシャンとして、作曲、アルバム、書籍作成など幅広い活動を行っています。



【月信担当(以下:月)】プロミュージシャンでロータリアンは珍しいですね?

【篠田元一会員(以下:篠)】仕事柄、都内での活動が多かったのですが、川口市のたたら祭りなどの自治体の仕事を通じてロータリアンと知り合う機会があり2016年に入会しました。

【月】クラブには直ぐに馴染めましたか?

【篠】奉仕活動の一環として陸前高田市での活動に参加する機会があり、かつて訪問した地に気軽に行くイメージで参加したのですが、実際の活動を通じ、メンバーと共に汗をかくことで言葉ではいえない繋がりを感じ、そこからロータリーに傾倒していきました。地元の友人が増えていくのも嬉しいものです。

【月】ロータリーを通じて行う奉仕活動は参加してみて始めてわかる部分がありますね。それでは本題に、軽音楽部の活動を教えてください。

【篠】活動のスタートは、川口RCでのイベントで演奏したことがきっかけです。そこで音楽好きが、意外と多いことが分かり、非公式に集まることからスタートしました。

【月】現在のメンバー数と活動状況を教えてください。

【篠】メンバーは30名程度です。経験者も未経験者も関係なく、音楽好きの集まりです。カラオケ大会や、練習会や演奏会などを中心に行っています。

【月】篠田さんとのレベルの差に愕然としませんか?

【篠】そんなことはないです。ゴルフだけでなく(笑)、音楽を楽しむ活動を通じて、地区内ロータリアンのヨコの関係を広げるひとつのきっかけとなればと嬉しく思います。サークル内で発表会など楽しく行いたいです。

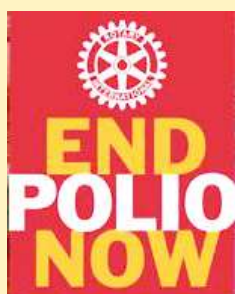


インタビュアー:月信担当 地区副幹事 大竹・福蘭

若い頃に音楽を楽しんでいたロータリアンも多くいらっしゃると思います。未経験でも大歓迎!若いころを思い出し、今一度音楽に情熱を傾けてみませんか?
ご興味のある方は、下記まで、ご連絡お待ちしております。
川口RC事務局
TEL:048-222-0124

篠田元一さん情報 **HP** <https://www.moto.music.co.jp>

10月 24 日は「世界ポリオデー」です !!



世界保健機関 (WHO) は、ナイジェリアで野生株のポリオウイルス感染が終息し、アフリカ大陸からの根絶を宣言しました。感染が続くのは、アフガニスタンとパキスタンの 2 か国になりました。

今回の快挙はポリオのない世界に向けた大きな一歩です。
しかし、闘いはまだ終わっていません。世界のポリオ根絶を実現するには、ロータリー会員と寄付者からの支援、そして医療従事者による懸命な努力が必要とされます。

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク



世界ポリオデーのアイデア

ポリオ根絶 特別例会

- ポリオ根絶の動画を上映
- 世界ポリオデー特別プログラムを鑑賞
- 有識者を卓話に招待
- バーチャル例会でEND POLIO NOWの背景画像を活用 (ブランドリソースセンターでダウンロード可能)



世界ポリオデーのアイデア

ウォーキングチャレンジ

距離や歩数の目標を立て、
世界ポリオデーまでに達成をめざして
各自で歩く。友人や同僚、家族にも
応援してもらい、目標を達成したら
ポリオプラス基金に寄付をしよう。

地区幹事の「ほっと一息」

「チップ」

男が劇場内で自分の席についた。
だが、彼の席はステージから遠く離れている。そこで彼は案内係を呼んで、こうささやいた。
「この芝居はミステリーなんだ。ぜひとも間近で見たい。だから、もっと良い席に移してくれないかな。
チップは沢山あげるからさ」
それを聞いた案内係、ほくほく顔で男を前から 2 列目の席へと案内した。
しかし席に着くと男は、案内係に 100 円硬貨を一枚だけ渡した。
案内係はチップをポケットに入れたら、男に身を寄せてこうささやいた。
「妻が犯人ですよ・・・」